

【2024 SyDE 産官学協働研修 実施報告】2024.10～2025.3

2025年3月に開催された「世界防災フォーラム2025」の開催準備などを含む研修を、一般財団法人世界防災フォーラム事務局にて約6か月間実施しました。世界防災フォーラムは2017年に第1回が開催され、今回で4回目となる市民参加型の防災に関する国際会議です。本研修では「防災」をテーマに、学術研究と一般社会の連携を理解し、社会実装に向けた現状と課題を実践的に学ぶことを主な目的としました。

研修開始にあたっては、災害の実態を理解するため、2011年東日本大震災で特に原子力災害の被害が続く、福島県浜通りの巡検を行いました。巡検では津波震災遺構・浪江町立請戸小学校や富岡町の東京電力廃炉資料館などを訪問し、震災から13年が経過しても日常を取り戻せていない現状、そして次世代に災害を伝承することの難しさを実感しました。特に請戸小学校では、被災から10年以上が経過していることによる建物の風化・老朽化が進んでおり、単に保存するだけでは不十分で、次世代に災害の実態を伝えるための保全が求められるという、震災遺構が抱える課題を知ることができました。

巡検を行った後は、世界防災フォーラムの開催に向けた準備に携わりました。今回の世界防災フォーラムは気候変動がテーマであり、気候変動により災害が激甚化している昨今、一般市民に何ができるのかを考えてもらう機会となるようなポスター作成とその発表に取り組みました。ポスターでは、一般の方が日々の生活に取り入れられる行動変容の事例を紹介し、実際どれくらいの二酸化炭素の排出を削減できるのかを試算し数値で示しました。排出削減可能な量を世界の国々の二酸化炭素排出量と比較して紹介することにより、日本国内の総排出量と比較すると小さなことでも、世界的に目を向けてみると、キリバスのような島国からすると非常に大きな力となることを伝えることができました。

最後に、本研修を受け入れていただいた一般財団法人世界防災フォーラム事務局の吉野様をはじめ、関わっていただいた皆様に御礼申し上げます。

浮田 泰成（理学研究科・地学専攻・D1）



ポスターの発表の様子（TBC 東北放送 <https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tbc/1775632>）

どうするキコヘン？

日常でできることを探してみよう

行動を変えて、地球を助ける？

地球規模で起こる気候変動。個人ではどうしようもないように見えます。でもそれは間違い。実は誰にでも、地球を守るためにできることがたくさんあります。国が掲げる気候変動対策 (CO₂排出削減) の目標に対して、個人がどれだけ寄与できるでしょうか。ある1日の生活を例に、みんなでできることを探してみよう。



行動変容の例

6:30	起床 歯磨き / 洗顔 朝ごはん	使う お湯の量 を減らす エコクッキング	使用する量を半分に ▶ 24 g の CO ₂ 削減	エコクッキング ・ 洗剤は少なく ・ 電気やガスの使用を短く できる調理方法 ・ お弁当も作っていい
8:00	自宅を出発	運動手段は車から自転車に		
8:50	職場に到着	オフィスの照明点灯時間を減らす		
12:00	昼休み	コンビニ弁当から 手作り弁当 に 使っていない部屋の照明は OFF		
17:30	退勤			
18:30	帰宅 晩ごはん お風呂 テレビ	フードマイレージ を意識した献立 - お風呂の温度を少し下げる - 浴槽にためる湯量を少し減らす - シャワーの代わりに浴槽のお湯を 見たい時だけ電源を付ける	レジ袋の製造から処分までに 37 g の CO ₂ が発生 プラスチックの弁当容器なら 75 g の CO ₂ ▶ 自宅から弁当を持ってくるだけで 112 g の CO ₂ 削減 夕食の献立に エコ な対策を ・ 国産食材や地場野菜を使用 ・ 複雑な調理法を必要とするものを減らす ・ 洗剤の削減に！ ▶ 最大で 309 g の CO ₂ 削減	

事例を挙げたものだけでも、500 g-CO₂ の削減に。
もし同じことを日本国民全員がすれば、1日で約62,000 t のCO₂削減！
年間約260万 t のCO₂を減らせることになります。
日本政府の目標は2030年までに6.48億 t のCO₂の排出削減。
一人ひとりの小さな行動の差が、地球環境を救うことに繋がります。

「小さな行動を大きな力に」

発表資料と本ポスター内に記載している数値は参考資料「第4次大学・学際研究」(2017)による文献
調査の結果であり、正確性や専門性を保証するものではありません。

他にできることはあるかな？

思いついたらここにふせんを貼ってみんなと共有しよう

作成したポスター



巡検で訪れた浪江町立請戸小学校内部の様子